

## 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 22年 3月 11日

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	2795000088		
法人名	医療生協かわち野生活協同組合		
事業所名	グループホーム くすね		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護・介護予防認知症対応型共同生活介護		
所在地	東大阪市楠根2丁目7番8号		
自己評価作成日	平成 22年 2月 25日	評価結果市町村受理日	平成 年 月 日

### 【事業所基本情報】

① 介護サービス情報の公表制度の基本情報を利用する場合	<a href="http://iseikyokawachino.jp/kusune/a01/b01_04.htm">http://iseikyokawachino.jp/kusune/a01/b01_04.htm</a>
② 情報提供票を利用する場合	

① 基本情報リンクURLを記入 ② 別紙情報提供票のとおり

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人 近畿マネジメント・サポート・センター
所在地	〒546-0035 大阪市東住吉区山坂五丁目5番14-103号
訪問調査日	平成 22年 3月 9日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

家庭的な雰囲気を目指し、入居者1人ひとりの生活が明るく・楽しく・笑顔の多いホームを目指して、認知症の学習やケアの学習をし、実践出来るように心がけている。  
 医療機関が併設されており、定期受診や緊急時の対応が出来、医療・健康管理面で優れている。  
 また、併設されている通所リハビリテーションやショートステイとの合同交流も多く取り組んだり、医療生協の組合員を中心に、地域の方の関わりも多く、閉鎖的でない所。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

医療生協かわち野生活協同組合の3番目のグループホームで、先達当たる各ホームで培った人材と経験を活かして昨年新設した施設です。職員は既往のホームから移籍の方々が主力で、他に近在の介護経験者も在籍し、利用者は、安心して楽しい日々を送っている。  
 ホームは、昨年新築した5階建の5階にあり、共用室の大きな窓からは遠景を楽しむことができる。  
 1階から4階までは過去30年間、ご当地、徳庵の別々の場所で、クリニックを始め各種の医療福祉活動を続けていたのを、この度、各階に併設し、一つにまとめたものです。従って利用者も地元の方々が殆どで、ご家族の中には毎週2回も訪問される方が居り、ご家族のきずなを深めているのが現状である。又、クリニックが同じ建物内にあるので、毎週の検診や、急な対応もできることもあり、利用者やご家族は安心して居る。  
 更に、地元の自治会長さんを始め多くの方々のご協力を頂いている施設で、運営推進会議も含め各種の交流が行われている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○ 理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「医療生協の介護」を基本に実践している。今回の結果を元に、当グループホーム独自の理念の作成を行なう予定	日々の引継ぎの際に管理者より理念の実践を指導している。毎月の第4木曜日に2時間の会議でも運営方針の話し合いを行なっている	
2	2	○ 事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として、日常的に交流している	医療生協の組合員を中心に交流を持ち、色々な取り組みに参加している	医療法人が徳庵地区で30年間活動を行なってきたので、地域の方々との交流は引き続き行われている	
3		○ 事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や、支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	個々の相談などには応じているが、まだまだ出来ていない。今後学習会などを開催して行きたい	/	/
4	3	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	定期的に運営推進会議を開催しており、色々な意見を頂いている。地域包括センターとは、学習会などの声かけの関係を築けており、サービスの向上に生かせる	運営推進会議を通してより地元の方々との交流が進んでいる。会議でのご意見、ご提案等を介護に活かしている	
5	4	○ 市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市の研修会には必ず参加している。また、転倒事故などの報告を適切に行い、意見を頂きケアに生かす様になっている	管理者は職員の研修には特に配慮し、研修会後は必ず伝達講習を行なっている	
6	5	○ 身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて、身体拘束しないケアに取り組んでいる	7:00~20:00は玄関は自由に入出入り出来る様に、鍵を開けている。また、指定基準を基に「身体拘束や虐待に関するマニュアル」を作成し、学習会などで職員に周知徹底させている	玄関はエレベータホールになっている。訪問者の出入りは、チャイムでチェックしている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○ 虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	指定基準を基に「身体拘束や虐待に関するマニュアル」を作成し、学習会などで職員に周知徹底させている		
8		○ 権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	大阪府の研修会にて参加して、学習をした。必要な家族には、制度の有無のお知らせや行政機関への相談の情報を行っている		
9		○ 契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	「利用契約書」「重症事項説明書」にて説明を行い、理解・納得していた上で、署名・捺印をして頂いている		
10	6	○ 運営に関する利用者、家族等の意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員、並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	「虹の箱」（ご意見用紙）を設置し、意見が出せる様にしており、意見を担当会議にて検討し、その内容を掲示する様になっている。 また、家族会にて意見を頂いている	ご家族もホーム近隣のお住まいの方が多く、訪問も多いので、ご挨拶を兼ねて話し合いの場が、度々出来ている	
11	7	○ 運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や、提案を聞く機会を設け、すれらを反映させている	職場会議にて、意見を出せる様になっている。 また、ご意見用紙を配布し、意見が出せる様になっている	提案用紙により改善提案等があり、活用している	
12		○ 就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう、職場環境・条件の整備に努めている	労働組合があり、労働規約などでしっかり整備している。 また、職場会議などでも要望を出せるようにしている		
13		○ 職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎月の職場会議にて学習を行ない、診療所の学習会や法人の学習会に参加している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
14		<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>運営推進会議にて、地域包括支援センターと交流を持っており、地域包括の事業所との意見交換を持っている。今後は学習会などで交流していく予定。P214</p>		
<b>Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○ 初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居相談時にアセスメントを行ない、本人の思いを取り入れたケア計画を作成している。自宅に訪問するなど、今までの暮らしを生かした事も考えている。</p>		
16		<p>○ 初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入居に至った経緯や経過を聞き、その中から家族の要望や思いを聞いている。その思いをケア計画に生かすようにしている。</p>		
17		<p>○ 初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>入居者の状態を聞き、適切なサービスの情報を教えている。同法人内のサービスやケアマネを紹介するなどを行なっている。</p>		
18		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を支援される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者本意の生活場となるように、業務優先の生活ではなく、声かけによるケア優先の生活を提供している。</p>		
19		<p>○ 本人と共に過ごし支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族からの意見を取り入れるように、来所時などに声かけを行うようにしている。また、家族会を開催し、意見を頂けるように努めている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や、場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	家族だけにとどまらず、友人等の面会も行なっている。 また、同建物内の介護事業所を利用していた方は定期的に顔を出すなどを行なっている	建物階下のクリニック、デイサービスに顔出しして、馴染みの方々との交流を楽しんで頂いている	
21		○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	スタッフが間に入り、共通の趣味などを見つけて、関係を築けるように支援している		
22		○ 関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要があればご連絡いただくように声かけを行なっている		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○ 思いやり意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。 困難な場合は、本人本位に検討している	日々のコミュニケーションで想いを聞いている。 その人のペースで生活をしていただけるように無理強いせず、支援している	職員は日々の対話での特記事項を、連絡ノートに書き残している	
24		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族からのアセスメントを中心に、入居時の自宅訪問などで把握に努めている。 また、日々のコミュニケーションで知った情報を共有している		
25		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の、現状の把握に努めている	職員が把握できた状況等は、職員会議などで定期的のモニタリングを行い、状況に応じた対応を心がけている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○ チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題と、ケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>申し送り時や職場会議などで情報を共有し、統一したケア内容を計画・作成している。</p> <p>職場会議では、モニタリングを定期的に行い、ケア計画書の変更や更新に役立てている</p>	<p>毎日の記録の集約として月一回カンファレンスを行ない、共有情報としている</p>	
27		<p>○ 個別の記録と実戦への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら、実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個人記録用紙だけでなく、申し送り用紙やノートを活用し、情報共有に努めている。</p> <p>その情報を元にケア内容の変更も行なっている</p>		
28		<p>○ 一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援や、サービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>家族からも情報を頂き、個々にあった色々なケア方法を行なっている。</p> <p>ケア記録は1部だが、センター方式を取り組んでいる</p>		
29		<p>○ 地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域の老人会や自治会の役員の方に、運営推進会議に参加していただき、地域の情報ももらっている。</p> <p>その中で、参加できる取り組みなどを教えてもらっている</p>		
30	11	<p>○ かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>同建物内にある診療所に受診しており、受診時には家族に付き添いをお願いしている。</p> <p>診療所との定期的な情報交換も行なっている</p>	<p>医療法人の医療施設と併設なので、利用者、ご家族は安心している</p>	<p>口腔ケアについて医師、ご家族、職員等で検討して欲しい</p>
31		<p>○ 介護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中で、とらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>申し送り表や個人記録に記載し、定期受診時に伝えるようにしている。</p> <p>また、必要時には随時診療所に相談出来るように連携を取っている</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
32		<p>○ 入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>家族との連絡を常時行ない、状態の把握を行なっている。また面会に行くなどをして、医療機関からの情報をいただいている。必要に応じて当法人の医療機関を紹介している</p>			
33	12	<p>○ 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で出来ることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>現在方針を検討中。診療所の往診や訪問看護を活用するなど、ターミナルケアに向けた指針を作成したいと考えている</p>	<p>年齢から予想されることなので、内部研修と個人情報の共有を引続き、検討して欲しい</p>		
34		<p>○ 急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は、応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>診療所の看護師による学習会や消防署主催による救急救命の学習会に参加している。また、緊急対応時のマニュアルを作成し、すぐ見れる所に置いている</p>			
35	13	<p>○ 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を、全職員が身に付けると共に、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練を年2回開催している。また、緊急時の避難についてのマニュアルを作成し、学習会を開催した</p>	<p>災害時の避難訓練について、特に夜間1人の場合も想定して、全員の研修を検討して欲しい</p>		
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>						
36	14	<p>○ 一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りや、プライバシーを損ねない言葉かけや、対応をしている</p>	<p>自尊心を大切にし、個々にあった声かけや対応に注意をして対応している</p>	<p>個人の尊厳については職員会議にて研修を実施し、日常的には、職員相互に言葉掛けには注意しあっている</p>		
37		<p>○ 利用者の希望の表出や、自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が、思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>本人の希望や想いを聞けるように1対1で対応し、想いを出しやすいようにしている</p>			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○ 日々のその人らしい暮らし	日常生活の中で常に声かけを行ない、入居者の意思優先で生活していただくように心がけている。 その上で意思を尊重するようにしている		
		職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望に沿って支援している			
39		○ 身だしなみやおしゃれの支援	好みの服を着て頂いたり、小物を使って頂くなど配慮している。必要時には、家族への声かけも行なっている		
		その人らしい身だしなみや、おしゃれが出来るように支援している			
40	15	○ 食事を楽しむことのできる支援	個々の出来る範囲で、配膳や片付け手伝ってもらえるように声かけをしている	カロリーは問題はないが、体重等を考慮した盛り付けをしている	
		食事が楽しみになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている			
41		○ 栄養摂取や水分確保の支援	給食会社の食事を提供させていただいている。 その方にあった量や嗜好を考えて提供している		
		食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○ 口腔内の清潔保持	食後には口腔ケアの声かけを行なっている。 少なくとも1日1回の歯磨きを施行してもらっている		
		口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や、本人の力に応じた口腔ケアをしている			
43	16	○ 排泄の自立支援	排泄記録を付け、排尿パターンを把握し、必要に応じて声かけ及び誘導を行っている。 その方に必要な下着を討議し、使用するようになっている	職員は排泄記録により適宜に誘導している	
		排泄の失敗や、おむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や、排泄の自立に向けた支援を行っている			
44		○ 便秘の予防と対応	排泄記録により、排便の確認をしている。 牛乳などの飲み物の検討や水分量の調整を行ない、場合によっては軟下剤の服薬を医師に相談している		
		便秘の原因や、及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる			



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように、職員の都合で、曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	時間の制約はあるが、2日に1回の入浴を提供している。希望の方に関しては、入浴を延期したり、続けての入浴と、要望に応じ支援している	予定以外の入浴希望があっても、適宜に対応をしている	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣や、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	施設業務中心の生活スタイルではなく、入居者の生活時間に合わせた生活で、自室にてゆっくり休めるように配慮している		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と、症状の変化の確認に努めている	服薬情報ファイルを作成し、全職員が確認できるように用意している。服薬変更時には、申し送りノートにて情報共有を行なっている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や、力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	個々の趣味にあったレクリエーションを行なうようにしている。また、掃除・洗濯などの手伝いを好まれる方には一緒に手伝ってもらっている		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	初詣などの行事毎や暖かい日のドライブや散歩などの取り組みは行なっているが、個人個人の希望にはなかなか応じられていない。周りが工場が多く、車の交通量が多い事から外出が出来ていない状況がある	ホーム周辺地域は倉庫、車庫等の事業所が多いので、散歩に適した地域ではないが、適当に、自動車の少ない道路を歩いている。近隣のスーパーにも出かけている	
50		○お金の所持や、使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり、使えるように支援している	金銭の所持を希望される方は、家族と相談の上、所持をしていただいている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○ 電話や手紙の支援 家族や大切な人に、本人自らが電話をしたり、手紙のやりとりができるように支援している	希望があれば電話をかけるなど支援している		
52	19	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な混乱を招くような刺激(音、光、色、広さ、温度など)が無いように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地良く過ごせるような工夫をしている	季節カレンダーなどを作成し、自室及び共有スペースに掲示している。 毎日の掃除を行ない、整理整頓に心掛けており、十分な明るさ確保のために電気の設置を多くしている	現在はカラオケが人気で、利用者の皆さんは楽しみながら、生活をしている	
53		○ 共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で、思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベンチや椅子を多く設置し、入居者が各々の時間を作れるように配慮している。 景色の良い場所に椅子を設置し、安らげる空間を作っている		
54	20	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや、好みのものを活かして、本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている	以前使用していた物を持ってきていただくなど、家族の協力と理解を頂いている	毎朝の清掃も職員と一緒にやって行われている。室内は各自が自由に家財道具を持ち込んでいる	
55		○ 一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつ、できるだけ自立した生活が送れるように工夫している	入居者が生活しやすいように、廊下には手すりを設置し、段差のないバリアフリー状態で設計している		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ① 毎日ある <input type="radio"/> ② 数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③ たまにある <input type="radio"/> ④ ほとんどない
58	利用者は一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者と <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいと <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
64	通いの場やグループホームに、馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ① ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ② 数日に1回程度 <input type="radio"/> ③ たまに <input type="radio"/> ④ ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ① 大いに増えている <input type="radio"/> ② 少しずつ増えている <input type="radio"/> ③ あまり増えていない <input type="radio"/> ④ 全くない
66	職員は生き活きと働けている	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ② 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ② 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスに、おおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ① ほぼ全ての家族が <input type="radio"/> ② 家族の2/3くらいが <input type="radio"/> ③ 家族の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ ほとんどいない